



啓明学院 9 回卒業生の鎧坂文菜です。

在学中は中高 6 年を通じて放送部に所属し、アナウンスメントの練習やドキュメンタリー制作などに打ち込んでいました。

(みなさま、毎朝毎夕の発声練習をあたたく見守って下さりありがとうございました…)

現在は宮城県の民放テレビ局で報道記者として働いています。現在は県政担当で、議会や選挙、災害、医療など、あらゆるテーマに挑戦しています。

7 分前後の特集枠を任せて頂いたり、現場に出てレポートをしたり、ラジオでニュース解説をしたりと、毎日が知識の総合格闘技。啓明で学んだこと・得たものは全て生きていると思います。

おとし啓明生が宮城県へボランティアに来たときには、県内ニュースで取り上げさせて頂きました。懐かしい先生方や、元気で一生懸命な啓明生に出会い、大変刺激をもらいました。来年 3 月で、3.11 から丸 10 年。阪神淡路大震災の年に生まれ、東日本大震災の被災地で働いている自分だからこそできることは何かないものかと考えています。

そんな私の原点となっているのは、やはり部活動です。

高校 3 年生のときインタビューした同級生に言われた「よろちゃんが取材してくれなかったら、一生誰にも言えなかったかもしれない」という言葉。

時々振り返っては、微力でも誰かの力になれるような取材をしたいと初心に立ち返っています。

全力で打ち込んだ先で出会えた、学校内外の沢山の方々との繋がりは、私にとって何にも代えがたい宝物です。

誰かの役に立つ情報を発信できているのだろうかと思ったり葛藤ばかりの日々ですが、これからも絶えず新たな挑戦を続けたいと思います。

鎧坂文菜（啓明学院 9 回生）